

# 北海道情報大学広報誌 たなかまど

2018 (H30) 年 2 月 20 日発行

VOL  
69

# 北海道情報大学広報誌 たなかまど

2018 (H30) 年 2 月 20 日

## CONTENTS — もくじ

# VOL. 69

01	表紙
02	目次 北海道情報大学紀要 29-1
03	学長に就任して 学長 澤井 秀
04-05	CAMPUSだより
06-07	第29回 蒼天祭を終えて
08	保護者と教員との懇談会 寄附の御礼
09	大学院からの報告 秋の食生活改善運動
10	新任の先生の紹介コーナー 医療情報学科 加藤伸彦准教授
11	先生の学外活動 医療情報学科 清水芳行准教授
12-13	ゼミ紹介 先端経営学科 福沢ゼミ システム情報学科 中島ゼミ 医療情報学科 佐藤浩樹ゼミ 情報メディア学科 向田ゼミ
14	ビジュアルページ Snow-kissed Daydreams.
15	先生の自己紹介 サイモン・ソーラ教授
16	コンテスト報告 英語プレゼンテーション、ポスターデザイン
17	サークル紹介 軟式野球部
18	留学生の日本語弁論大会
19	平成29年度 北海道情報大学公開講座終了報告
20-21	札幌国際短編映画祭 6年連続入選!!
22-23	海外研修出張報告 安田教授 フィンランド・オウル応用化学大学
24	北海道ドローン選手権大会に参加して
25-26	大学主要行事など(H29年7月1日～H30年1月31日)
27	平成30年度 HIU カレンダー
28	情報大の女子学生出演 「たびろくムービーズ」配信中!

## 北海道情報大学 紀要 29-1

北海道情報大学紀要 (Memoirs of Hokkaido Information University) は、北海道情報大学が年2回定期的に刊行する学術誌です。これは、本学における教育研究活動の成果を学内外に広く公表することを目的としており、論文の他、解説、研究ノート、制作ノート、資料、報告などを掲載しています。本学のホームページにて公開しておりますので、内容をご覧になりたい場合は、右記の URL または QR コードをご利用ください。

### 《 論 文 》

- 中小企業経営学に関する試論的考察  
福沢 康弘
- 産業連関分析を用いた北海道江別市における物販施設の整備による経済波及効果に関する考察  
藤本 直樹
- 孔子の「礼」思想について  
玉置 重俊
- JINS MEME を利用した大学講義における受講者の学習状態の推定  
長尾 光悦 斎藤 一 谷口 文威 佐瀬 雄治
- 労働市場の女性化をめぐる問題  
—ワーク・ライフ・バランスと男女均等—  
加藤 喜久子 平賀 明子
- 植民地朝鮮における愛国婦人会  
満州事変から日中戦争開始まで  
広瀬 玲子
- 特別支援教育における教育的ニーズに関する考察～自閉スペクトラム症児への TEACCH プログラムに基づく太田ステ

ジプログラムの効果から～  
五浦 哲也

### 《 研究ノート 》

- 街歩き観光における心拍変動からの嗜好推定システム  
長尾 光悦 佐藤 亮
- 北海道情報大学真性高血圧者の身体的特徴の検討  
佐藤 浩樹 柳沢 佳子 蔵本 信比古 西平 順 佐藤 裕二

### 《 報 告 》

- 訪日外国人観光客の利便性向上を意図した簡易フリー Wi-Fi エリア可視化マップ  
長尾 光悦 玉井 恭広
- 江別市リアル謎解きゲーム問題作成プロジェクト実践報告  
斎藤 一 黒島 慧



[http://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou\\_29\\_1.html](http://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou_29_1.html)



昨年4月に学長を拝命して、この「ななかまど」が発行される頃には早1年弱になりますが、就任当初は仕事の内容がそれまでとは大きく変わって戸惑うことも多く、気持ちが張り詰めたまま、無我夢中で駆け抜けてまいりました。その間、大学のガバナンスに関する重要な改革や、トッププライオリティで進められてきました施策の方針変更等にしゃにむに取り組み、7月にファースト・ワンハンドレッド・デイズ（就任後100日）を迎えても、まだ、その100日間を振り返る心の余裕もあまりなく、気持ちの上で多少の余裕が出てきたのは夏季休暇後でした。

学長としてまず肝に銘じたことは、①“情報”を学びたいとやって来た学生たちに、どこに出しても通用する“情報”の知識とスキルと心構えを身に付けさせて社会に送り出してあげること、②大学に入ってから“情報”以外のことに興味が出てきた学生を含めて、多様な学生がいる現状を素直に受け入れ、それらの学生たちに対しては“情報”の縛りを緩めて、それぞれの道で社会人として必要な知識とスキルと心構えを身に付けさせて社会に送り出してあげること、③学生たちが意欲を持って学修及び自己研鑽に取り組める学びの場を提供できるだけの体力を大学として維持・成長させることに、真摯に取り組んで行くことです。

それらの実現を目指して、学長に就任した昨年4月に宣言したことは、「選択と集中」及び「陋弊（ろうへい）の打破」という2つの基本方針です。「選択と集中」はある意味ありふれた言葉ですが、限られたリソースの中で、本学の中期目標である『VISION 2020』の実現に向けては、どうしてもやらなければならないことなのです。ここで、“選択”というと、何やら後ろ向きというような感触を持たれる方もおられるかも知れませんが、決してそうではありません。リソースを集中して、目標に向かって確実に前進するために必須なことです。“プライオリティ付け”と言い換えてもいいでしょう。次に「陋弊の打破」ですが、“陋弊”という字はなかなか難しい字ですね。“陋”は“陋習”の“陋”、“弊”は“悪弊”の“弊”ですが、“因習”と言い換えてもいいかも知れませんが、要するに“悪い習慣”というような意味です。大学に限らず、企業でもどんな組織でもそうですが、創立し



て30年余も経つと、垢がたまって動きが悪くなるものです。やり方が固まってきてしまって、何でもかんでも決まったやり方で片付けてしまうというような状態に陥ってしまいがちなのです。なぜか？それは、その方が楽だからです。そんな“楽”をしていると、次第にジリ貧となってしまって、ただ滅亡に向かうだけとなりますから、人も組織も変化しなければなりません。

これからは大学もバタバタとつぶれる時代になります。本学だって、決して例外ではないのです。そうならないように、学生のことを第一に考えて、①今やらなければならないことは何なのか、②今までのやり方でいいのか、③より良い方法はないのか、ということを常に自問自答しながら、進んで行かなければなりません。そのようなことを一口で表したのが、「陋弊の打破」です。

さて、大学は営利を追求しない非営利団体として、過去においては“大学経営”ということは卑俗なことと見なされ、多くの大学構成員の関心事ではありませんでした。さらに、「大学の自治」とか、「学問の自由」といった美名の下に、一般社会とは隔絶して、象牙の塔の内で安住する組織風土を形成してやって行けた時代もありましたが、今や、大学を取り巻く環境は大きく変化し、大学はどこも、その変化に適応するために必死の努力が必要となっています。“昨日のように今日があり、今日のように明日がある”という時代ではもはやありませんので、“大学経営”のことも考慮しながら、建学の理念を常に忘れることなく、多様な学生たちに「情報大に来てよかった」と思ってもらえるような大学を目指して努力していく所存です。

## 「第31回ビジネス EXPO」 に出席

11月9日（木）～10日（金）に、札幌市の大規模展示会場アクセスサポロで開催された「第31回ビジネス EXPO」に、本学から2チーム・2箇所  
で出展いたしました。

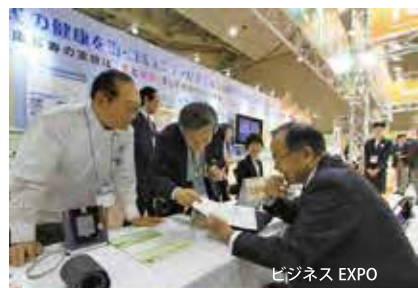
ビジネス EXPO は、北海道内の企業を中心に345もの企業・団体が出展し、ビジネスやものづくりのアピールを行う北海道内最大級のビジネスイベントです。

(1) 情報メディア学部の森川研究室



ビジネス EXPO

が開発した新感覚ゲームと学習コンテンツ（学術・試験研究機関展示ゾーン）  
(2) 健康情報科学研究センターの「食の臨床試験」を紹介する健康チェックコーナー（地域創造ビジネス展示ゾーン、ノーステック財団として出展）



ビジネス EXPO

## 「グレシャム・江別姉妹都市提携40周年記念祝賀会」での プロジェクションマッピング



グレシャム1

10月6日（金）、アメリカオレゴン州のグレシャム市と江別市の姉妹都市提携40周年記念祝賀会にて、プロジェクションマッピングを披露しました。

作品は本学の学生4名が中心となって作成したもので、祝賀会会場となった江別市コミュニティセンター多目的ホールのレンガ壁と天井に、大型プロジェクターを用いて投影しました。江別市の三好市長、グレシャム市のビーマス市長をはじめ、100名を超える来賓の方々の前での披露となりました。



江別プロジェクションマッピング

## 江別第一小学校でプロジェクションマッピング

2020年度から開始されるプログラミング教育必修化を前に、7月29日（土）と30日（日）に、江別市内初のICTモデル校である江別第一小学校で、プログラミング&プロジェクションマッピングワークショップ「えべつピカッとJOHOワークショップ」を開催しました。

ワークショップは、本学情報メディア学部の安田先生、向田先生、大島先生、福光先生ら教員4名と、本学学生10名

のサポートの上で行われ、タブレット端末などで自由に描いてもらった絵をコンピュータに取り込み、簡単な教育用プログラミングで動きをつけ、15～30秒のアニメーションを作るとことをしました。最終日には、映像を校舎の外壁に映し出し、見学を訪れた約200人の市民らに発表しました。



## 東京ゲームショウ2017への出展

9月21日(木)～24日(日)の4日間、千葉県幕張メッセで開催された世界最大級のゲームイベントである東京ゲームショウ 2017 に出展しました。今年は約25万人が来場しました。

参加したのは、東京ゲームショウへの出展を目的とした科目：「プロジェクトトリアルII」(担当教員：森川、向田、大島、安田、島田)を受講し、その中で行われた作品コンテスト(ゲーム制作部門とブース制作部門)で勝利したチームの学生たちで、東京ゲームショウの会場ではそれらの学生たちの作品が展示されました。会場内でのブース・ゲーム案内や対応も、学生たち自身によって行われました。

## 東南アジアの学生たちと宇宙情報に関するワークショップを開催

9月18日(月)～23日(土)の日程で、次の3カ国(※)から学生5名を招聘し、宇宙情報に関する国際ワークショップを開催しました。※タイ(ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校):2名、マレーシア(UCSI大学):2名、インドネシア(インドネシア・イスラム大学):1名

茨城県つくば市にある筑波宇宙セン

ターを見学した後、北海道の本学に移動し、本学宇宙情報センター長でもある渡部重十教授のプランニングの下、気象衛星ひまわりが取得した衛星画像を活用する実習に取り組みました。本実習から本学学生10名ほども加わり、海外の学生達と共に課題に取り組みました(キャンパス内にはひまわり8号と9号の受信局があります)。参加した5名は日本の宇宙開発に興味を持つ、それぞれの大学内で選抜された学生たちであり、皆とても熱心に実習に取り組んでいました。また本学学生たちも英語でのコミュニケーションに苦労しながらも、交流を楽しんでいたようです。

なお、本ワークショップは、JST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)のさくらサイエンスプランの助成をいただき、NICT(情報通信研究機構)とSED(宇宙技術開発株式会社)の協力を得て実施しました。



## 女子会「ふらっとみんなで昼ごはんの会」の開催



本学は男子率が高いです。

しかし(だからこそ?)、女子は学部・学科、学年を超えてみんな仲良し。

本学ふらっとルームの呼びかけで、全学年対象の女子会「ふらっとみんなで昼ごはんの会」を開催しました。

江別産の食材を使った簡単料理を医療情報学科の奥村先生(専門:食品と



栄養、栄養教育)の指導の下で、みんなで調理して、おいしくいただきました。

メニューは次のとおりです。

5/24:江別産豆腐のお好み焼き(オシキリ食品の豆腐、江別製粉の小麦など)

6/21:朝もぎ江別産ベジサラダ、江別産小麦で作る簡単パン

7/19:江別焼きそば(菊水の麺、江別産野菜など)

# 第29回 蒼天祭を終えて



10月7日(土)、8日(日)に本学の大学祭である蒼天祭が開催されました。

今年度は、1日目の後半に少し雨が降りましたが、2日目は風も少なく、過ごしやすい気候となりました。過去2年の蒼天祭は、大雨や凍えるような寒さに見舞われましたが、今年は天候に恵まれました。また、今年度の来場者数は約2000人となり沢山の方にお越しいただきましたことを大変嬉しく思います。

さて、今年度の蒼天祭テーマは「ADVENTURE」でした。本テーマには「蒼天祭という冒険を通して何かを見つけられるようなお祭りにしたい。また、実行委員会生や模擬店を出す情報大生が作り上げた蒼天祭をお客様にも存分に冒険して行って欲しい」という意味が込められていました。実行委員会では、蒼天祭を通じて沢山の新しいものを見つけることが出来ましたが、蒼天祭に協力してくださった在学生、

そして足を運んでくださったお客様にも何か新しい発見などがあった蒼天祭となれば幸いです。

今年度は、So-tenLiveに「オクラホマ」「綾野ましろ」のお二方にお越しいただきました。前半に、オクラホマさんにトークや漫才、ショートコントなどを行っていただいた後に、綾野ましろさんによるライブが行われ、会場の松尾記念講堂はとても盛り上がっていました。Liveが終わった後は抽選会を行い、5名の方にサイン色紙のプレゼントをしていただくなど、最後まで楽しんでいただけるSo-tenLiveになったのではないかと考えております。

また、今年は特別企画として「PERFORMER☆KEITA」「時雨」をお呼びして、スペシャルパフォーマンスを行っていただきました。PERFORMER☆KEITAさんは、7日(土)にお越しいただきました。雨天のため、急遽体育館のサブステージでのパフォーマンスを行っていただきました。華麗なパ

フォーマンスだけでなく、軽快なトークで会場を盛り上げていただきました。時雨さんは8日(日)にお越しいただきました。メインステージでのディアボロのパフォーマンスで沢山の観客の視線が釘付けになっていました。

YOSAKOI企画では、7日(土)には5チーム、8日(日)には6チーム、合計11チームの方々に演舞を披露していただきました。どのチームも迫力満点の演舞となり、メインステージ前はとても盛り上がっていました。最後には、全チームでの総踊りが行われ、大人から子供まで幅広い年代の方々が楽しむことができました。



そして、毎年恒例の蒼天大花火は今年度も無事に打ち上げることが出来ました。今年度は去年を上回る寄付金をいただき、本当に沢山の教職員や卒業生、同窓会の方々の支援があり、打ち上げを行うことが出来ました。花火のフィナーレでは、沢山の花火が一度に打ち上げられ、情報大学の空に幻想的な光景を目にすることが出来ました。

他にも、BINGO 大会など、盛り上がる企画が沢山あり、賑わう様子を見ることが出来ました。

今年も蒼天祭を無事に終わることが出来たのは、同窓会や教職員の皆様、模擬店・展示を運営して下さった学生の皆様、OB・現役の学生実行委員会生、そして何よりも蒼天祭にお越しくださった来場者の皆様のお陰です。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

学生実行委員会 委員長 石丸 暢人



▲時雨さんのディアボロパフォーマンス



▲PERFORMER☆KEITA さんによるジャグリング





平成 29 年度の保護者と教員との懇談会を本学において 1 年生と 3 年生の保護者を対象に、全体会、学年毎の懇談会及び個別面談の 3 部構成で実施いたしました。

全体会では、澤井学長より「大学機関別認証評価適合認定」、「教育の質を保証するための“教育改革の推進”」、「ICT（情報通信技術）を活用した教育の実践」等について、説明がありました。

学年毎の懇談会では、1 年生と 3 年生に分かれて説明が行われた後、各クラス担当教員及びゼミ担当教員との個別面談が行われました。

この懇談会は、保護者のみなさまに本学の教育目標や本学が目指す人材育成、教育の実情、就職状況等を理解していただくとともに、学生の修学状況や学生生活の現状、卒業後の進路等について個別に懇談できる機会としております。

保護者のみなさまは、担当教員との懇談と併せて、教務課及び学生サポートセンター事務室で学業や学生生活の状況、卒業後の進路・就職活動等について質問されておりました。



## 北海道情報大学教育研究振興募金に対する寄附の御礼

— 多くの個人寄附者及び同窓会からの暖かいご支援に感謝 —

本学が行う「北海道情報大学教育研究振興募金」に対し、平成 28 年度も多くの皆様からご寄附を頂戴いたしました。また、北海道情報大学同窓会からは昨年度に引き続き、蒼天祭開催日に合わせて実施された「同窓会との意見交換会」の場におきまして、多額のご寄附をいただきました。皆様に対し、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

寄附金の平成 28 年度の用途につきましては北海道情報大学教育研究振興事業

委員会にて審議をし、主に経済困難度の高い学生に対する奨学金給付に使用した他、教育研究支援、学内環境整備を目的として使用いたしました。

皆様方からの暖かいご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、寄附者ご芳名と収支報告及び監査報告につきましては本学 Web サイトにて公開いたしております。





大学院からの  
報告

平成29年度 北海道情報大学大学院  
学位論文等公開発表会を開催しました

平成 30 年 1 月 30 日 (火) 13 時から、  
本学 213 教室において、平成 29 年度  
北海道情報大学大学院学位論文等公開  
発表会を開催しました。当日は、学位

論文等の事前審査に合格した 3 名が、  
出席した教職員及び学生に対し、自身  
の研究内容や成果について発表を行い  
ました。



【発表者及び学位論文等題目】

大景 啓五 「高級車ブランドのブランドエクイティに関する実証研究」

楊 業軒 「AIIIB のガバナンス（組織運営）における問題点の解消に関する研究  
～良い事例の利活用と日本参加の提案を中心に～」

牧野 圭恭 「背景差分情報を用いた人物の動作分析に関する研究」

◆ 北海道情報大学大学院 経営情報学研究科 経営情報学専攻(修士課程)  
学生の学会発表について

エンタテインメントコンピューティング2017(於:東北大学)	
9月16日	牧野 圭恭 (クリエイティブメディア 分野 修士課程 2年) 効果的な筋トレのためのフォームチェックアプリの開発

江別4大学 秋の食生活改善運動（100円朝食）実施



江別市に所在する 4 大学（本学、酪  
農学園大学、札幌学院大学、北翔大  
学）の共同企画「食生活改善運動 100  
円朝食」が 10 月 25 日から 27 日まで  
行われました。

この運動も、今回で 20 回目（平成  
20 年度から春・秋に実施）を迎えまし  
た。

朝食は、心身共に健康な学生生活を送るための基礎になります。しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、朝食をと

らないことで生活リズムが乱れたり、  
不規則な食生活が原因で体調を崩して  
しまうケースも見受けられます。学生  
にきちんと朝食をとる習慣づけができ  
ればと 100 円でこの運動を実施してい  
ます。

3 日間のメニューは次のとおりです。

**10月25日（和食メニュー）**

キノコと豚肉の味噌炒めと付合せ  
(キャベツ、トマト、キュウリ)、ジャガ  
イモの鶏そぼろあんかけ、厚焼き玉子、  
キンピラごぼう、ご飯、味噌汁、もみじ饅  
頭、牛乳 or オレンジジュース

**10月26日（洋食メニュー）**

魚のムニエルとエビフライと付合せ  
(キャベツ、トマト、キュウリ)、粗引き  
ウインナー、ミックスベジタブル、ご飯、

コンソメスープ、ムースエクレア、牛乳  
or オレンジジュース

**10月27日（中華メニュー）**

唐揚と付合せ (キャベツ、トマト、キュ  
ウリ)、麻婆茄子、春雨サラダ、ご飯、中  
華スープ、杏仁プリン、牛乳 or オレン  
ジジュース



## 思いやりをもった医療従事者に

医療情報学部医療情報学科 准教授 加藤伸彦



みなさん、こんにちは。昨年9月から医療情報学科に着任いたしました加藤伸彦です。どうぞよろしくお願いたします。滝川市出身で高校までここで過ごしました。その後の東京での学生生活をのぞけば就職してからもずっと北海道です。私はこれまで「臨床工学技士」として30年間勤務してきました。1988年国家試験取得後、民間病院、臨床工学技士養成校教員を経て、1999年から本学着任までの19年間北海道大学に勤務しました。当時北海道大学病院で「臨床工学技士」として採用になったのは私が初めてで、苦労も多かったのですが、周りのスタッフに助けられ、心臓手術や臓器移植、ロボット支援手術などの高度医療のサポートや手術室で使用される医療機器の操作、使用材料の管理などに携わりたくさんの勉強をさせていただきました。

「臨床工学技士」の業務は患者さんの生命に直結するたいへんな業務が多かったのですが、そんな中でもやりがいを感じながら仕事をしてきました。現在も教育研究に携わりながら、急スピードで発展する医療技術に遅れないよう道内外の大学病院や民間病院で臨床や医療技術の勉強を継続させて

いただいています。

このような経歴ですので、診療情報管理士や臨床工学技士を目指して勉強している、医療情報学部の学生さん達とは近い距離にいるように感じています。現代医療は「チーム医療」と言われており、これが医療現場で実践されています。「チーム医療」は、医療関係職種以外にもたくさんの職種や人で成り立っています。患者さんに対しても医療関係スタッフに対しても相手思いやる気持ちを持つことが大前提になります。本学で学ぶ4年間で「思いやり」という心を身に付けてほしいと願っております。

病院勤務時代は時間的にとても忙しい毎日を送っていましたので、自分の時間は大事にすることを心掛けてきました。「これが私の特技趣味です」と言えるものは少ないですが、体を動かすことが好きです。

現在はジム通いをしながら50歳をすぎた仲間達と野球やゴルフなんかをしながらわいわいやる時間がいいですね。60歳までにフルマラソンを完走することを目標にしてトレーニングもしています。それからもう1つの目標で来年はオートバイで道外までツーリン

### 先生の学内プロフィール

#### 研究分野

臨床工学  
医療安全  
医療環境 等

#### 担当する授業

ヘルスリテラシー入門  
医療治療機器学  
生体機能代行装置学Ⅱ

研究室 131 研究室

グに行きたいと思っています。最近は何れもしたいこれもしたいと思ったらすぐに実行するようになりました。これからも仕事に遊びに全力投球ができればと心を新たにしています。

私の専門は「臨床工学」という一般社会から見れば狭い領域ですが、専門以外の分野も積極的に勉強していきたいと考えています。医療情報学部の学生さんのみならず、他学部の学生さんをはじめたくさんの皆さん「ぜひ私の研究室に来ていろいろなことを教えてください。」おやつを用意して待っています。

最後になりますが、これまで私の経験したことを、皆さんに楽しく伝え、そのことが現在、社会にできるため、本学で4年間の修行をしている無限の可能性を持った学生諸君の役に立てるよう全力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



## 夏の思い出、子ども達とともに。

私は、本学に来る前の10数年間、愛知県名古屋市の職員（地方公務員）でした。

名古屋市では昇任試験に合格すると、昇任前研修としてNPO団体に計7日間の研修に行き、その研修内容を報告することが義務付けられており、私は「NPO法人CAPNA（Child Abuse Prevention Network Aichi 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち）」に派遣されました。

CAPNAは、1995年に設立された児童虐待防止や虐待されている子供の救済や援助を行っている団体で、私はその活動をお手伝いさせていただくなかで、こんなにひどいことが本当にあるのだろうかという強い衝撃を受けました。家族旅行はもちろんのこと、修学旅行やキャンプ、クリスマス、お正月、お誕生日会…。多くの子どもたちが当たり前で経験する楽しい思い出は皆無で、あるのは日々の虐待と貧困だけなのです。

また、CAPNAのメンバーで、愛知方式と呼ばれる特別養子縁組の仕組みを確立した矢満田篤二さん（元愛知県児童相談所児童福祉司）や萬屋育子さん（元愛知県刈谷児童相談センター長）といった真に熱意溢れるパイオニアの方々の情熱と人柄、そして御苦労に触れたことも、自分の考え方を大きく変えました。長く医療機関という狭い社会の中で生きてきた私にとって、単に「医療者」としてだけではなく、ひとりの「人間」として、社会のために何ができるのだろうか、いや、いつか何かをしたい。そう思うようになりました。

本学に移り1年が経った平成29年3月。子どもの人権問題に取り組む弁護士である実妹の紹介で、NPO法人子どもセンターパオ事務局の原田・高橋法律事務所・高橋直紹弁護士にお会いしました。高橋先生は、児童相談所や警察からの依頼で多くの虐待を受けている子どもたちのサポートを長年続けてこられ、仲間の弁護士の方と一緒にほぼ自費で子

ども達を保護する施設を立ち上げた方です。高橋先生から児童虐待の現状や子どもたちの置かれた環境などをお聞きして、私は胸が熱くなったと同時に、CAPNAでの研修で芽生えた感情を思い出しました。いまこそ、自分が思ってきたこと、子どもたちに楽しい思い出を作ってもらいたいという気持ちを実行に移す時ではないかと。

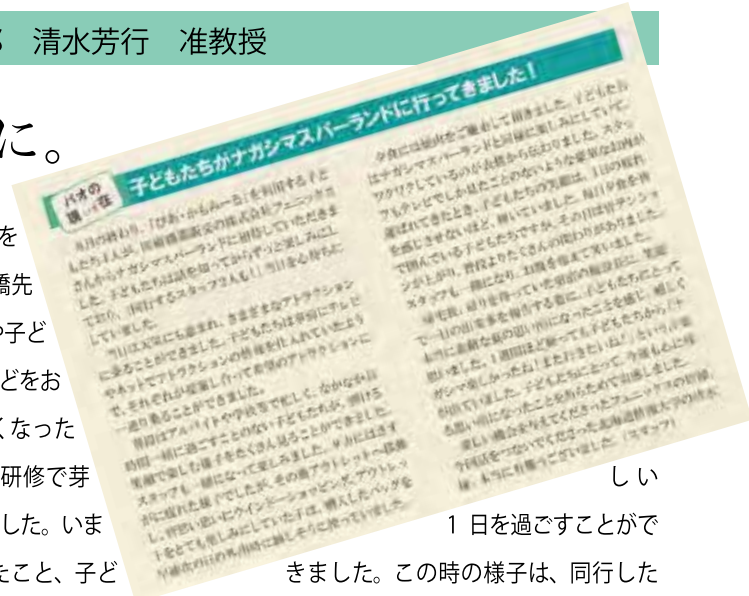
私は、この計画の趣旨と意義を1枚のレポートにまとめ、資金援助をお願いすべく名古屋にある医療機器販売会社の取締役のみなさんに相談したところ、CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、この企画へのサポートを快諾していただきました。その後、何回かの打ち合わせを経て、8月26日（土）、パオが運営している「自立援助ホーム ぴあ・かもみーる」で暮らしている子ども達と一緒に、東海地方では有名な遊園地「ナガシマスパーランド」に行くことができました。

朝、愛知県某所まで車で迎えに行き、そこ



で彼女たちに初めて会いました。「どんな顔で会えばいいだろうか？」と私自身少し緊張していたのですが、彼女たちは明るく元気で、この日を楽しみにしてくれていたことがその表情から伝わってきて、行きの車内で一気に打ち解けることができました。

夕方まで遊園地でたくさんのアトラクションで遊び、アウトレットモールで買物を楽しみ、名古屋へ。夜は焼肉をみんなで食べに行きました。みんなでたくさん遊び、笑い、楽



しい1日を過ごすことができました。この時の様子は、同行したパオのスタッフの方がニュースレターに書いてくれましたので一読いただければと思います。

後日、とってもかわいいお礼の手紙をいただき感激しました。本当に実現して良かったと思いました。

それにしても、なぜこの子どもたちがひどい目



にあわないといけないのか？子どもには何の責任もありません。

厚生労働省の調査によると、2015年度の児童虐待相談対応件数が初めて10万件を超え10万3260件に達し（対前年度比+1万4329件、+16.1%）、年々増加傾向にあるようです。

児童虐待とは、子どもに対する身体的暴力や育児放棄（ネグレスト）、言葉や態度で子どもを傷つける心理的虐待などに分類され、子どもの肉体的・精神的成長に著しい悪影響を与えるだけではなく、ときには虐待死さえも招きかねない許されざる行為です。

私には児童虐待を防ぐことも、子ども達をサポートすることもできませんが、これからも子ども達に楽しい思い出を作ってもらえるように、頑張って取り組んでいきたいと考えています。

## 福沢ゼミ

経営情報学部 先端経営学科

福沢ゼミは今年度から新たに開講されました。男子5名、女子2名の合計7名の1期生(3年生)が所属し、生き生きと学んでいます。

ゼミのテーマは「企業経営実践ゼミ」です。「ゼミは立派な社会人になるための訓練の場である」「ゼミは学生が成長する場である」という方針のもと、ゼミ生たちが企業経営の実践の場をできるだけ多く見聞し、体験できるようなプログラムを用意しています。

ゼミ活動の半分は、学外での活動に充てています。企業見学や経営者との懇談を数多く行い、経営の現場を体感しています。さらに、企業と共同でプロジェクトも遂行しており、ゼミ生たちは教室の中では得られない体験を通して、大きく成長しています。

またゼミ活動を進める中で、チームワークの大切さも学んでいます。いい成果を残すためには、メンバー全員がひとつにまとまり、「いいチーム」にならなければならないからです。これは経営の基本といえるでしょう。福沢ゼミのゼミ生たちはとても仲が良く、頻りにコンパを企画するのはもちろん、休日には全員でキャンプに行ったりするなど、非常に雰囲気の良いゼミを作り上げています。



夏には新ひだか町へゼミ合宿に出かけました。ここでもチームワークの良さが現れ、全員が協力し合い、計画を立て、成功裏に合宿を終えることができました。

2019年3月、ゼミ生たちは卒業し、社会へと巣立っていきます。それぞれが希望の進路へと進んでいけるよう、このゼミがその手助けになればと思い、今後もさまざまな体験の場を提供していく予定です。

## 佐藤浩樹ゼミ

医療情報学部 医療情報学科



佐藤浩樹ゼミは現在、3年生5名、4年生4名で活動しています。病院就職を希望する学生、特に診療情報管理士をめざす学生が集まっています。電子化された医療データを用いて、複数の医療機関からの情報の収集や分析、必要に応じ他の部署への情報提供、最終的には病院経営に携わることができる医療業界で広く活躍できる人材育成を目標としています。

そのために「診療情報」および「医療統計学」を主な研究テーマとしてお

ります。「診療情報」に関しては医療経済の根幹となるコーディングを理解するために、疾病を中心とした臨床医学や医療問題をコメディカル立場から情報収集を図り理解し発表を行っています。「医療統計学」においては基礎的な統計手法を学んだ後に、問題点を明らかにしてアンケートを独自に作成するなどして自ら情報収集を行い、学んだ統計手法を用いて解析・分析を行い、結果を発表してプレゼンテーション力の向上を図り、将来的に医療経営者となるための素地を身につけることを行っています。

研究に加え、私のゼミでは就職を意識して積極的な資格取得を奨励しており多くの勉強会を開いていることも特徴です。特に「診療情報管理士」、「医

療情報技士」がターゲット資格です。

ゼミ回数も多く密度は濃いですが、飲み会などを通じて楽しく活動を行っています。その他、卒業後も同じ釜の飯を食う同士としてゼミ生OBとの情報交換、時にゼミ生OBに大学に足を運んでもらい在学生との交流も行っています。ゼミを通じて「自分で考え判断できる力をつけてもらうこと」、「人とのつながりの重要性をわかること」を究極の目標として指導を行っています。



## 中島ゼミ

経営情報学部 システム情報学科

中島ゼミでは3年生6名、4年生4名、そして大学院生1名が学んでおります。

ゼミでは、グループに分かれPBLでのシステム開発に取り組んでいる他、毎回クリティカルシンキングを取り入れたディスカッションを活発に行い、失敗しない情報システムの開発はどうあるべきか？、情報漏洩を防ぐにはどのように情報システムを管理すべきか？、一部が壊れても通信が継続可能な信頼性があるネットワークをどう設計すればよいのか？、について、学



生なりの結論を出させることを通じて、徹底的にものごとについて議論して結論を得ることを繰り返しています。情報システムの開発前にまず検討すべきことは何か？、開発プロジェクトのマネジメント方法など、「システム開発 = プログラミング」としか考えてこなかった学生が、それ以上にもっと重要・必要な知識が沢山あることに気が付いてもらっています。

中島ゼミには毎年、プログラミングやシステム開発に興味・関心があって配属されてくる学生が多いのですが、情報システムで“面白いこと”をしたければ、少なからず数学や英語などの基礎学力が必要とされることや、今どきのITエンジニアには、要件定義、仕様書や操作説明書を書くために必要な



国語力が多分に要求されることに気づき、危機感を感じて自分で勉強をし始めたり、逆に挫折を感じて落ち込んだりと、様々なタイプの学生が集まってきていますので、学生同士での刺激が良い方向に向かわせてくれていると感じています。

ゼミで学んだ成果は、学内外の皆様にお使いいただいている、ポータルサイトや教務情報Webシステム(eduweb)、シラバス公開システムに多分に生かされていると思います。

## 向田ゼミ

情報メディア学部 情報メディア学科



向田ゼミでは、クリエイティブとテクノロジーを融合した「素敵」の創造をテーマに活動しています。3DCGなどの技術を用いて、見ている人の心に刺さる感動体験や、世の中を便利にする新しい何かを作り出したいと思っています。そんな「素敵」を創り出し、見る人・使う人との思いの共有を目指しています。

3DCGを基礎とする技術や手法は、映画やゲームだけではなく、私達の身

の周りにさまざまな形で存在します。3DCGの作品にテクノロジーが少し加わると、その適用範囲は格段に広がります。向田ゼミでは、3DCGの動画や静止画を制作するだけでなく、VRやAR、3Dプリンタ、モーションキャプチャ、そしてプロジェクションマッピングなどに取り組んでいます。

2017年の活動をいくつか紹介しましょう。7月には江別第一小学校にて、小学生向けのプログラミング&プロジェクションマッピングワークショップを開催しました。小学生たちとアニメーションのプログラムを制作し、それぞれの作品を小学校の校舎一面にプロジェクションマッピングしました。8月には、三菱自動車のオーナーズイベントとして開催された

StarCamp2017 in 吹上高原にて、星空の下、デリカ D:5 にプロジェクションマッピングを実施しました。

その他にも、さまざまなプロジェクトを進めています。プロジェクトは、他のゼミとのコラボレーションも積極的に行っています。いろいろな技術が組み合わせることで、「素敵」は倍増していきます。他学科のゼミとのコラボレーションもできればと思っています。

向田ゼミの活動はフェイスブックでもご覧になれます。@mukaida125labで検索してみてください。QRコードからもアクセスできます。



# Snow-kissed Daydreams.





お茶目なサイモン先生

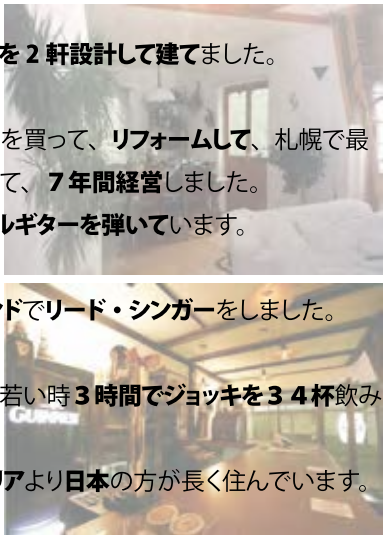
知ってましたか？  
サイモンのENJOY.  
やっぴやん...。

# サイ 31 モン??

## 『サイモン先生の31個の知らないこと』

経営情報学部 サイモン・ソーラ教授

- 01 サイモンはオーストラリアで1年間ぐらいFMのラジオ局でミッドナイトDJで働きました。
- 02 サイモンはバスの運転免許証を持っています。
- 03 少林寺拳法で黒帯2段を持っています。
- 04 16歳の時、サイモンがドラマを書いて、劇団が演劇してくれました。
- 05 5年以内、サイモンは学士を2つとりました。
- 06 サイモンは自分で家を2軒設計して建てました。
- 07 サイモンは古い建物を買って、リフォームして、札幌で最初の禁煙バーを作って、7年間経営しました。
- 08 サイモンはクラシカルギターを弾いています。
- 09 39年前、パンクバンドでリード・シンガーをしました。
- 10 ビールが好きです。若い時3時間でジョッキを34杯飲みました。
- 11 生まれたオーストラリアより日本の方が長く住んでいます。
- 12 1989年に、サイモンはFM Air-Gで番組を持っていました。
- 13 サイモンはタスマニア大学のパラシュート倶楽部のライフタイムメンバーです。実は怖くて、一度も飛んでません。
- 14 約12年ぐらい、サイモンが自分の研究室の外にタランチュラを飼いました。餌は蟋蟀でした。
- 15 広奥先生が学校に勤めるまで、サイモンが広奥先生の研究室をビール研究に利用しました。清掃の人があの研究室のことを「第七●●●●」と言いました。
- 16 サイモンは、12年以上、ホッケーをしていました。(中学校、高校、大学、大学院、社会)
- 17 サイモンは暗算が得意です(歩く計算機です)。
- 18 サイモンの誕生日は大谷翔平選手と同じです。
- 19 大学生の時、肉が大好きなサイモンは夏休みに屠殺場で働きました(そのあと、1年間ぐらい菜食主義者になりました)。
- 20 40年以上、サイモンはパジャマを着ていません!
- 21 35年前、サイモンがlogo、basic、pascalとcobolを教えました。
- 22 サイモンは、ひざを折らずに体を曲げて足のつま先に手をつけるできません。
- 23 サイモンはインドネシア語が喋れます。
- 24 サイモンの一番好きな日本語の言葉は『ピンポンダッシュ』です。
- 25 サイモンにはお化けが見えます。
- 26 今までに、サイモンは車を50台持ってたことがあります。
- 27 サイモンはトマトが嫌いだけどケチャップが大好きです。
- 28 18歳まで、サイモンは暗闇を恐れました。
- 29 生まれた時、5キロでした。
- 30 サイモンの渾名は「ダサイモン」、「ウルサイモン」と「クサイモン」です。
- 31 15歳のサイモンの100mタイムは12.5秒でした。



Simon THOLLAR 経営情報学部 システム情報学科 教授  
 研究分野 英会話、英語の発音、e-learning、動機づけ  
 サイモン先生は、オーストラリア・タスマニア出身の教授です。情報大学では英語表現、海外事情などの講座の他、e-ラーニングや、FDなどで多大な貢献をされています。また、教員の仕事の他に多彩な趣味を持っていて、大工の腕は家を建てるほど、自動車は古い車を(例:ボルシェ)レストアして車検を取って乗り回すほどです。ここではサイモン先生のユーモア溢れる自己紹介を掲載していますが、もしかすると、誇大広告があるかも知れません(笑)。

## 英語プレゼンテーションコンテストを終えて 先端経営学科 ジョエル・ライアン



1月29日、第10回 HIU 英語プレゼンテーションコンテストを無事に終え表彰式が行われました。

このコンテストを通じて、学生の努力と想像力が感じられました。

実際に人の前でプレゼンするものではなく、スライドショーを投稿するだけです。応募ルールは簡単：自分自身が作った作品で、他のコンテストに出していないもの。あとは、ほぼ自由で

す。1人でも数人のチームでも可。あと当然、オール英語が絶対条件です。

英語プレゼンコンテストに投稿するスライドショーは自主作成です。先生方のガイダンスを受けながら緊密に作るもの

ではありません。正直、先生方は不公平にならないように、ヘルプすることを断ります。

プレゼンの評価は、英語の質だけではありません。評価は、ルーブリックを使用して、見やすさ、聞きやすさ、分かりやすさ、面白さ、5人の英語担当の先生方により点数を付けます。

総合的、英語が流暢でなくても、フレッシュな、ためになるプレゼンを作

るためにどれだけ力を入れてきたことによって評価をつけます。

今年の優勝者は、ビデオを含むパワーポイントでした。紙コップを使って紙芝居みたいな形で民話を紹介、また、自作のショートフィルムを入れて日本人の不思議な習慣をプレゼンしました。

このほか、すべて手書きのスライドにスクリプトなしで楽しい音声だったり、本格的な研究も投稿されました。

こういった主体的な努力は、学生たちにも先生方にも、良い学ぶ機会だと思います。英語力よりも、プレゼンの出来はむしろアイデアと努力次第です。分かりやすく面白く、ためになるものにしようと努力すれば、伝えたいことがオーディエンスに伝わります。

## 12/22 HIU ポスターデザインコンテスト表彰式 情報メディア学科 川上 正博

このコンテストの趣旨は、本学学生の学習成果の発表の機会とデザイン制作のスキルアップ。また、自主的な発想で新しい表現に挑戦する場としてコンテストを開催しています。

テーマは2つ

- 北海道情報大学のアピール
- 江別市のイメージアップ

### 【受賞者】

#### ◎ 情報部門

優秀賞 1622057 田中 結衣  
 奨励賞 1522030 吉田有希菜  
 1622032 田中 海夕  
 1622058 辻栄明希帆  
 1622076 瀧本 夕貴  
 アイディア賞 1522028 鳴海 葵  
 1622021 宮崎 賢太

#### ◎ 江別部門

最優秀賞 1522018 八重樫 洸太  
 優秀賞 1522039 橋本 優花  
 奨励賞 1522052 丹野 葵  
 1622020 本荘 理基  
 アイディア賞 1522046 草嶋 真穂  
 フォトジェニック賞  
 1622040 畠中 紗彩  
 1622074 柴田 俊也





# 軟式野球部

## - サークル紹介 -

こんにちは、軟式野球部です。

私たち軟式野球部は総勢 21 人で活動をしています。部員には高校野球をやっていた人、中学校まで野球をやっていた人、大学から始めた人、いろいろな人がいます。みんな仲がよく、部活動以外での交流も多いです。

基本的に部員同士仲は良いですが、昨シーズンはチームワークが良いと言えるものではありませんでした。上級生に技術の高い学生が集まっており、チームというよりは個人力で戦っていました。そのため、先輩と我々下級生の間には溝が生まれ、野球自体を楽しめなくなっていきました。ただ、このままでは良くないと考え、新チームになってからは、新キャプテンを中心に「楽しく野球をすること」をコンセプトに方針転換をしました。

一般的な方針であり「何が変わるのか」と疑念が残るところではありますが、我々軟式野球部はすべての部員の力で変わることができました。戦力的には昨年度よりもだいぶ

劣る部分もありますが、今年度はみんな全力で野球を楽しめたと実感しています。

みんなが野球を心の底から楽しんでいるので、今年度の大会はどんなに劣勢でも誰一人として最後まで諦めず戦えたと思います。

軟式野球部では勉強が得意ではない部員が多いので、勉強の指導はあまりできませんが、様々な個性を持っている人がおり、野球の楽しさ、諦めない心、チームワークの大切さなど、スポーツに関係あることなら教える事ができます。大学に入ったけど友人が少ない・話す相手があまりいないなど困っている

人におすすめの部活だと思います。遊びに来るだけでも少し変わると思っています。ぜひ一度遊びに来てください。



練習場所は情報大グラウンド、冬季は体育館で練習をしています。

練習試合は情報大グラウンドを中心として、他大学のグラウンド・野球場を借りて、試合も行っています。

公式戦の試合会場は、大学近くにある野幌総合運動公園の硬式野球場と軟式野球場、年数回程度ですが江別市飛鳥山公園野球場を使用しています。主にこの3つの球場で試合をしています。

### 【部員募集をします】

経験は問いません。誰でも歓迎します。やる気があり、野球を楽しみたい方、野球好きな方、是非体験入部を試みてください！

マネージャーも募集しております！

### 【今年度の大会成績について】

春季リーグおよび秋の新人戦では成績が振るいませんでしたが、秋季リーグで2勝2敗(4部2位)と頑張り、さらに入れ替え戦に勝利し、3部に昇格しました。





昨年の7月15日(土)に、外国人留学生委員会の主催で、「第八回 留学生の日本語弁論大会」が開催され、本学の115教室において、10名の留学生がそれぞれ熱弁を振った。ここでは、その詳細な顛末を書いてみたい。この弁論大会を開く目的の一つには、本学の教職員たちに、留学生諸君の日本語能力や活動状況などに対して、少しでも関心や興味を持って頂き、常に留学生たちの大学生活を温かく応援してもらうことにある。

残念ながら、本学の中国人留学生の在籍数は、年々減少傾向にあるため、学部留学生だけで均一で公正な弁論大会を行うのは、昨年はやはり難しい状況であった。したがって、昨年は、来日して間もない一年生と二年生以上の留学生を参加資格で分けて、別々の審査基準で弁論大会を実施することにした。この実施案は、実行委員会としての苦肉の策であったが、本当に弁論大会が何とか実現できてよかったと思う。

本学の日本語弁論大会は、初めて二部構成で開催され、第一部の特別弁論大会には、8名の一年生留学生が参加し、第二部の正式弁論大会には、3名の二年生以上の留学生が参加してくれた。司会進行係は、国際交流・留学生支援課の安倍さんが担当し、開式の挨拶は、留学生委員会の筆者が行い、その後に、早速4名の審査委員(委員長は飯嶋先生、竹内先生、若松先生そして筆者)が紹介されて、弁論大会の幕は開けた。

第一部の特別弁論大会は、あらかじめ

「自己紹介と日本に来た感想及び印象」という簡単なテーマが設定されており、それを一年生留学生たちに、自由に話してもらおう予定にしていたのだが、その計画は、第一番目の留学生が独自に発表した、難しいテーマの内容で、見事にひっくり返されてしまった。筆者は審査委員の一人だったので、その留学生の発表が終わってから、我々が求めたテーマでの発表ではなかったことを具体的に指摘したが、留学生本人は、何を言われているのかも分からずに、かなり当惑していた。おそらく、一年生の留学生の何人かは、日本語能力がまだ十分でないために、弁論大会の大事な開催要領の内容がよく理解できていなかったのであろう。

最初から大きなハプニングが発生して、審査委員たちもびっくりしたが、それでも、設定したテーマ通りに、発表する留学生も出てきたので、第一部の特別弁論大会は、何とか終了できた。この部では、審査員からの様々な日本語での質問に、一年生の留学生は、それなりに頑張って答えていたが、全体としては、やはり彼らの日本語能力の不足が明らかに感じられた。

第二部の参加留学生は、3名と少なかったが、それぞれ日本語の中級レベル能力と日本文化や日本事情をも、ある程度体得できていたので、彼らの弁論はなかなか素晴らしいものであった。彼らの流暢でユーモア溢れる日本語には、会場の誰もが、感嘆したに違いない。特に、彼らは会場の聴衆の顔をきちんと見なが

ら、堂々とそして笑顔で発表していた態度や姿勢が、きわめて印象的であった。

弁論大会での成績優秀者は、飯嶋審査委員長の講評の後に早速公表された。最優秀賞は、第二部の三名の留学生の中から、一人しか選べないので、審査委員会では、かなりの議論がなされたが、けっきょく「留学生から見た日本」を発表した盛舒茨君が選ばれた。優秀賞と努力賞は、第一部に参加した留学生から選出し、優秀賞には、謝佩君さん、努力賞には、



王萌萌さんを決定した。なお、第二部の方で、「中華料理」というテーマで発表した李晨君の発表内容と態度も、審査委員会では、かなり高く評価されていたので、この点は、特に記しておきたい。

弁論大会の閉会の辞は、国際交流委員の竹内先生が行ってくださり、発表した留学生諸君の努力を温かく労っていた。弁論大会の表彰式は、7月20日(木)の昼休みに行われ、それぞれの入賞者は、澤井学長より、立派な賞状と価値ある副賞を授与されて、満面の笑みを浮かべていた。今後も、本学の留学生たちには、積極的に日本語や日本文化の習得に励んでもらい、さらに充実した最高の留学生生活を続けて欲しいものである。



# 平成 29 年度 北海道情報大学 公開講座終了報告

平成 29 年度北海道情報大学公開講座にご参加いただき、まことにありがたく、厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、全 37 講座にたくさんのご参加をいただき、無事終了することができましたことをご報告させていただきます。

今後も本学の社会教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

No	講座名	回数	参加人数	備考
1	【公開イベント】 ミステリー × 札幌	1	80	当日自由参加型参加人数は概算
2	自分がわかる教育カウンセリング～ SGE 体験（基礎講座）～	1	4	教員免許状更新講習との合同開催
3	リーダーシップ論の変遷と展望 ～自治会などを上手に仕切れるリーダーになるために～	2	5	
4	これであなたもカウンセラー ～初めてのアクティブリスニング（傾聴）体験～	1	7	教員免許状更新講習との合同開催
5	環境とエネルギー～伝統的なおもちゃ「水飲み鳥」から見える世界～	1	5	
6	インターネットの便利な使い方～ Google、Yahoo を使いこなせ～	1	7	ご高齢の方対象
7	教師のためのコミュニケーション～交流分析を学ぼう～	1	3	教員免許状更新講習との合同開催
8	歌声合成ソフト（UTAU）で仮想歌手をつくろう！～これであなたも音楽プロデューサー！？	1	11	
9	さらに自分がわかる教育カウンセリング～ SGE 体験（応用講座）～	1	2	教員免許状更新講習との合同開催
10	ミステリーを 10 倍楽しく読む方法 ～日本ミステリーの特徴を知ろう～	1	23	
11	教養としての会計学入門～知って得する会計のはなし～	1	27	
12	夏休み自由研究教室 どもビデオ編集体験講座 ～映像監督になっているんなものを撮ってみよう！～	2	9	小学 3 年生～ 6 年生
13	“食と健康”：情報を食べる～おいしさや健康の秘訣は“情報”！？～	1	13	
14	マララさんの国連演説～古今の英語名演説にふれる 5～	1	6	
15	こどもプログラミング～自分でアニメやゲームを作ってみよう！！～	1	21	小学校 4 年生～ 6 年生
16	夏休み自由研究教室 ～ロボットで科学を学ぼう・中学生編～	1	6	中学生
17	夏休み自由研究教室 ～ロボットで科学を学ぼう・小学生編～	1	35	小学校高学年とその保護者
18	MSOffice を使いこなす（夏期）	1	2	教員免許状更新講習との合同開催
19	バーチャルリアリティを体験！！ ～情報大学のキャンパスをジェットコースターで走りめけよう～	1	10	
20	デジタルビジネス入門講座①「デジタルビジネスへの招待」	2	6	
21	お手軽プログラミング ～スマートフォンアプリ（Android）を作成してみよう～	1	7	
22	セヴァン・カリス・スズキのリオ環境サミットにおける伝説の演説 ～古今の英語名演説にふれる 6～	1	5	
23	図形や方程式と複素数	1	2	教員免許状更新講習との合同開催
24	IT サポートで健康に！ ～スマートフォンや PC を使って「いきいきライフ」～	1	11	
25	アニメーション制作入門 ～オリジナルのキャラクターアニメを作ろう！～	2	4	
26	ストレスマネジメントを知ろう～リラクゼーションを体験しよう～	1	13	
27	メディアートの世界～テクノロジーとアートの融合～	1	5	
28	オーロラって何だろう！？ ～1度は行ってみたいオーロラツアー！失敗しないための心得～	1	23	
29	MSOffice を使いこなす（秋期 2）	1	1	教員免許状更新講習との合同開催
30	デジタルビジネス入門講座②「新しいビジネス創りを体験しよう！」	2	5	
31	集団・組織づくりに役立つ教育カウンセリング講座～ SGE 体験～	1	8	教員免許状更新講習との合同開催
32	地域医療の最新トレンドを知ろう～『総合診療』『グループ診療』～	1	5	
33	遺伝子の情報解析からわかること～ 1000 ドルゲノム時代の到来！～	1	7	
34	映像のみかた～いま、ショートフィルムが面白い～	1	11	
35	食と消費者～食のブランド化から道産食材のブランド化へ～	1	9	
36	身近な消化管の病気～胃・大腸を中心に～	1	16	
37	身近な消化器の病気～肝臓・胆のう・すい臓の病気～	1	20	
		42	434	



撮影日：平成 29 年 3 月 24 日

## 札幌国際短編映画祭 6 年連続入選 !!

### 島田ゼミ 9 期生制作 短編映画 「多彩」

情報メディア学科島田ゼミナールの 3 年生（平成 28 年当時）が中心となり制作してきた島田ゼミナール 9 期生後期課題制作の短編映画「多彩」が第 12 回札幌国際短編映画祭の北海道セレクション部門に入選しました。この作品は 2016 年 10 月から 2017 年 3 月の期間に制作したものです。テーマは、「色覚の違い」で、色使いが他の人と違うことに悩みを感じていた主人公の赤羽が、自分が色弱という障害を持っていると知り葛藤する姿を描いた作品です。

監督の矢吹龍太郎よりコメント「普段当たり前のように見えている“色”が突然見えなくなってしまうたら、あなたはどうしますか？色弱は決して珍しいことではなく、この作品を通してもっと多くの人に知ってもらいたいと思い企画・制作しました。同期と先輩方、本学および外部の協力者の皆様のおかげでぶじ完成させることができ、さらに目標であった札幌国際短編映画祭での入選を果たすことができました。皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。」

#### 制作スタッフ

出演：川邊玄祥、上林愛実  
高橋美波、坂元浩泰

プロデューサー：吉田卓哉、谷口天斗

監督：矢吹龍太郎

助監督：長堀力人、向井和輝

脚本：長堀力人、谷口天斗

撮影：谷野早紀、渡邊健太郎

照明：星川颯、洪熙、富永剛広

録音：佐々木俊太

美術：川上真愛

編集：矢吹龍太郎

制作：谷口天斗

アドバイザー：島田英二

## ＊企画開発

島田ゼミ 9 期生全員で1つの短編映画を制作するのは 2016 年 9 月に行われた FOX ムービーコンテストに続き、今回が 2 回目となりました。企画開発にあたっては、始めに、過去の札幌国際短編映画祭の受賞・入選作品を研究し、皆でどのような傾向の作品が多いかを話し合い、それぞれあらすじを考えてストーリーの方向性や脚本の制作を行いました。

## ＊撮影準備

撮影にあたって撮影場所の決定、役者の出演交渉・オーディションを行いました。しかし、年始の撮影スケジュールだったため交渉は難航し、撮影の 2 週間前まで決定に時間がかかってしまいました。役者のみなさんはヒューマンアカデミー札幌校の方々をお願いしました。こちらは一般的な芸能事務所ではなく、専門学校で演者さんも私達と同じ学生だったので、良い意味で役者とスタッフの距離が近く撮影が上手くいった要因の 1 つだと思います。撮影場所は本学と交流のある江別高校にアドミッションセンター入試企画課を通してお願いしたところ撮影協力をいただくことができました。



## ＊撮影・編集

本作品の撮影は 2017 年の 1 月 4・5 日に行いました。撮影は割とスムーズに進み若干の遅れやアフレコを必要とする箇所があったものの、2 日間で撮り切ることができました。今回の撮影は年始ということもあり、過去の先輩方の撮影の時よりも少ない人数での撮影になりました。人が少なかったことで逆に 1 人 1 人の役割がはっきりした点や役者さんもとても熱心に撮影に取り組んでくれたため演技にリメイクはほとんどありませんでした。江別高校への交渉を仲介してくださったアドミッションセンター入試企画課の小松田さんには車も出していただきとても助かりました。皆様の協力のおかげでぶじ撮影を終えることができました。その後は編集作業へと入り、MA（整音）、そして映画祭へ出品するために英語字幕を入れたりしました。他にも、例年行われている札幌市内の映画館・シアターキノでの作品上映会のため、館主の方との企画交渉、他のスタッフはフライヤーやチケットの制作、宣伝活動など全員で成功させるため活動し、ぶじ作品の上映会を開催することができました。



## ＊短編映画祭

今回制作を行った「多彩」は第 12 回札幌国際短編映画祭の北海道セレクションにて入選を果たすことができました。先輩方が過去 5 年連続で入選しており、かなりのプレッシャーがありましたが、企画段階から入選を目標とし制作を行ってきたため、ぶじ目標を達成することができて安心しました。島田ゼミに入り初めて 9 期生全員で作った作品「子は子」では多くの失敗をし、先輩や協力していただいた方々に迷惑をかけてしまいました。そこから反省・改善をし作品の完成、そして入選という結果までいけたのは 9 期生の成長と皆様の協力のおかげです。私自身もこれまでの作品制作を通して様々な事を学んでこられました。約 2 年の間、このメンバーで映画制作が出来て本当に楽しかったです。本当にありがとうございました。末筆ながら、今回短編映画の制作にあたり協力していただいた企業の方々、俳優の方々、情報大学の教職員の方々、先輩・OB のの方々、そしてスタッフのすべての方々に感謝いたします。

情報メディア学部  
メディアデザイン専攻  
吉田卓哉



 「俺、アホネン。骨折って、俺、3日休んだねん。」

Ollen Ahonen.

Ollen Mikka Yasudanen.



- ヨーロッパの日本人!? 愛すべきフィンランドとオウルの人々 -



オーロラと満月 (安田撮影)



ヘイ (Hei こんにちは)。2017年8月から約半年間、長期海外研修という制度を用いてフィンランドのオウル応用科学大学というところに来ています。フィンランドでは北欧の起業教育をテーマに、特にデザインやICT分野でスタートアップ人材を産むための教育モデルを研究しています。今回はちょっと堅い話は抜きにして、フィンランドについてのちょっとした面白い知識を紹介しようと思います。フィンランドって日本人にとってすごく親しみやすい国なんです。

### ■フィンランド語は面白い名前がいっぱい。

ヤンネ・アホネン。みなさんはこれが人の名前なのは知っていますか？ヤンネ・アホネンさんは、フィンランドの有名なスキージャンプの選手です。他にも、プロ・アイスホッケー選手ながらやりくり上手のヤリ・クリさん、元ノキア・ジャパン社長のウコンマーン・アホさんなどの著名人もいます。他によくある名前では、ヤーナ・アホさん、ヘンナ・アホさん、ウーント・マッテロさん。苗字だけでは、パーヤネンさん、スンマネンさん、アシカイネン

ることが多い。フィンランド人の1/3以上が「ネン」をもつ苗字を持つようです。私もフィンランドで自己紹介するときはしばしば「ミッカ・ヤスダネン」と名乗るようにしています。「ミツタカ・ヤスダ」をフィンランド風に変えたものです。そして、フィンランド語で「私は～です」は「オレン～」になるので、「俺、3日休んだねん (オレ (ン)、ミッカ・ヤス (ン) ダネン)」と言えば、もう楽勝な自己紹介になります (笑)。みなさんもフィンランドに来たらお試しあれ。



安田も数回講義を担当



オウル応用科学大学での工藤君と鳴海君



オランダの人たちとワークショップ



お世話になったブレア先生とカトリーナ先生と情報大4人



ブレア先生と打ち合わせをする鳴海くん

### ■日本人と似ている!? フィンランド人

フィンランドにいと、この国の人達がとても日本人に似ているなっています。特に私がいるオウル応用科学大学の学生は、情報大の学生にとっても似ているんです（いい意味で）。だてととってもシャイでちょっと根暗で自虐的。オタクが多いんです。こちらではチームを組んでプロジェクト形式での学習が多いのですが、学期はじめのチームを組まなくてはならない時期は、チームにうまく入れずに群衆から離れて独り下を向いてスマホいじっている学生が多いです。直に馴染むのですが、シャイでコミュ障の人が多いのがフィンランド人。この性格は、フィンランド人にとっても腑に落ちることのようです。こういったフィンランド人あるあるをユーモラスに描いた本『Finnish Nightmares（マッティは今日も憂鬱）』↓（※脚注参照）はフィンランドで3万部を売り上げた国内売上NO.1（コミック部門）の大人気コミックです。シャイでちょっと根暗で自虐的な主人公のマッティは典型的なフィンランド人。マッティが日常で出会う「憂鬱」は日本人の私たちでもたぶん、「そうそう！」って思えると思います。例えば、①外出したいけどマンションの廊下に誰かがいる ②バスで隣に誰かが座ってきた ③見ているだけなのに店員が話しかけてきた ④質問したいけど目立ちたくない、などなど。2017年に日本にも上陸していますので、ぜひ、書籍やネットで読んでみてください。

### ■オウルと札幌・江別。共通点も多い！

フィンランドのオウルという市を知っている人は日本人では少ないでしょう。しかし、オウルは札幌や江別と共通した部分がたくさんあります。まず、位置なのですが、ともに首都（ヘルシンキ、東京）から北に飛行機で約1時間強の場所に位置します。そして、ともに国内5~6位の経済規模の地方都市であること。ただし、人口はオウル市が約25万人で江別市の約2倍ながら、札幌市は200万人の人口規模を誇ります。オウルの主要産業はICTで、これも札幌と似ています。ちなみにフィンランドの人口は約550万人。これは北海道の人口約540万人とほぼ同じ。国土をみると、日本の約377,972km<sup>2</sup>よりフィンランドは少し小さく約338,400km<sup>2</sup>です。なので、ほぼ日本の国土に北海道の人たちが住んでいると考えられます。そして、実はフィンランドは日本に一番近いヨーロッパの国。成田 - ヘルシンキの直行便でたったの9.5時間です。ロシアを隣国に持つ部分や、サーミ人という先住民族がいる点もアイヌ民族がいる北海道ととても似ています。

### ■オーロラと白夜、教育の国フィンランドへ留学しよう！



「オーロラと工藤君と鳴海くん和我1（工藤君撮影）」

オーロラや白夜は北海道にはありませんね。それを体験しにフィンランドに留学しませんか？オウル応用科学大学は情報大学とほぼ同じ学習領域を持ち、ゲーム、アプリ、Web、グラフィック、アート、システム開発、ビジネス、起業、健康、医療などの専門領域での実践人材育成に力を入れています。現在は、情報メディア学部4年の坂上涼一くんが半年間、アプリ開発で留学しています。また、短期特別体験プログラムでは、情報メディア学部4年の工藤大地君、3年の鳴海葵くんが体験留学をしています。今年度、オウル応用科学大学は情報大と、留学と研究に対しての国際交流協定を結びました。フィンランドは遠い国ですが、日本人と親和性があり、教員や学生の朗らかさや、大学の和やかでちょっと暗い（笑）雰囲気は情報大生にうってつけだと思います。なお、フィンランド語ではなく、英語が大学での主要言語となります。ほとんどの人が英語を第二言語として話すので、ネイティブと比べ喋るスピードは遅くて分かりやすいです。英語で次なる実践的な教育を受けたいと思っている人はぜひ、オウルへ！

では、ハイハイ。キートス！

# 北海道ドローン選手権大会に参加して

私は9月28日～9月30日に旭川で開催された北海道ドローン選手権大会に出場しました。北海道ドローン選手権大会は、酪農産業におけるICT化を推進するためのドローン技術の開発を意図したものです。第1回目となる今回の大会では、体育館内に仮想的な牧場を設定し、そこに存在する複数の模擬牛をドローンを飛行させて検出するというものでした。

大会に出場した経緯は、私が卒業研究として、ドローンを利用して何か面白いことは出来ないかと悩んでいた時に、偶然にも大会主催者である古川教授から大会の案内をいただいたことでした。大会出場が決まってからは、夏休みは朝から夜遅くまで、毎日、大学の研究室に籠り画像処理プログラムの開発、体育館での大会を想定したドローン操縦練習、飛行プログラムの作成などを行っていました。また、大会の前日は実際の大会会場でしっかり模擬牛を識別できるまでプログラムの調整を行い、大会に備えました。

大会当日、会場に入ると、出場校は北海道大学の大学院生、北見工業大学の教授、旭川工業高等専門学校の学生、

函館工業高等専門学校の学生など、私よりも全員年齢が上で深い知識と技術を持つ人たちばかりで、緊張と不安しかありませんでした。しかし、入念に準備を重ね、前日の練習においても問題がなかったため、飛行さえ失敗しなければ問題なくプログラムによって模擬牛を検出できると考えていましたが、なぜか模擬牛の誤認識が発生してしまい、残念ながら入賞はできませんでした。本当に悔しかったです。指導教員の長尾教授からは「気にしないでいい」という言葉をいただきましたが、正直、大会当日まで準備をしっかりと行っていたこともあり、悔しいし、気にしない方が難しかったです。

大会終了後に懇親会に出席し、北海道大学の大学院生や教授、北見工業大学の教授とお話ができる機会があり、私が作成したプログラムに対してのアドバイスや各校それぞれ異なった方法で模擬牛を検出していたこと、自分たちの研究している内容についてお話を聞いたことなど、悔しい思いもりましたが、とても良い刺激を受けました。

この経験から、私は酪農支援のため

のドローンアプリケーション開発をしたいと考え、卒業研究は「スマート酪農の実現に向けたドローンアプリケーション開発」に決めました。ドローンの自律飛行の実現、画像処理など大変ではありますが、とても楽しく卒業研究を進めています。

同じ画像でも光の量や写真の向きで処理結果が大きく変わってしまうということが大会出場を通してわかったため、この失敗を活かして乳牛を誤認識させない画像処理プログラムを開発したいと思います。

最後になりますが、ゼミナールで指導いただいている長尾教授、今回のような素晴らしい機会を与えてくださった古川教授、大会関係者各位にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

システム情報学科4年 鈴木健太





# 大学主要行事など <7月1日~1月31日>

## ◆◆ 教職員の動向 ◆◆

9月1日付  
《教員》  
採用 准教授 加藤 伸彦 (医療情報学科)

10月1日付  
《事務職員》  
昇任 学生サポートセンター事務室 学生課長補佐  
松尾 俊樹 (学生サポートセンター事務室 学生課 係長)  
教務課係長 上田さゆみ (教務課 主任)  
教務課主任 堀川美代子 (教務課)

《法人職員》  
昇任 経理課 課長補佐 石田 英弘 (法人本部 経理課 係長)

## ◆◆ 主要行事 ◆◆

◇大学◇  
7月 7日(金) 国際フォーラム  
8日(土) 留学生バスハイク研修  
15日(土) 留学生日本語弁論大会  
16日(日) AO 入試・奨学金説明会  
8月 5日(土)~6日(日) AO 入学試験  
7日(月) 教育研究評議会  
9日(水)~10日(木) 合同試験日  
9月 1日(金)~2日(土) 追再試験期間  
3日(日)~11日(月) マレーシア短期留学  
7日(木) カリキュラムアドバイザリーボード会議  
8日(金) CDIO ワークショップ  
9日(土)~10日(日) AO 入学試験 (B日程)  
9日(土) 大学院入学試験1次募集  
10日(日)~19日(火) 国際コラボレーション  
11日(月) Hyper-QU アンケート説明会  
18日(月)~22日(金) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業  
21日(木) スタートアッププログラム、消防訓練  
22日(金) 後期開講  
24日(日) AO セミナー  
27日(水) 「食と健康セミナー」  
29日(金) 前期末卒業生 学位記授与  
10月 7日(土)~8日(日) 大学祭 (蒼天祭)  
7日(土) 同窓会との意見交換会  
14日(土)~15日(日) AO 入学試験 (C日程)  
25日(水)~27日(金) 秋の食生活改善運動  
28日(土) 保護者と教員との懇談会  
11月 5日(日) AO セミナー  
18日(土) 後期前半合同試験日  
教員免許更新講習認定試験  
20日(月) 後期後半授業開始  
26日(日) 公募制推薦1期入学試験  
12月 16日(土) 編入学試験 (2次募集)、特別 AO 入学試験 (A日程)  
教員免許状更新講習認定試験  
21日(木) 大学入試センター試験説明会  
1月 8日(月) 特別入学試験  
10日(水) 授業開始  
13日(土)~14日(日) 大学入学者選抜大学入試センター試験  
21日(日) 公募制推薦2期入学試験、特別 AO 入学試験 (B日程)、  
南京大学外国語学院留学準備クラス聴講生・学部・学科・専攻入学試験  
27日(土) 免許状更新講習認定試験  
29日(月)~30日(火) 合同試験期間

◇大学院◇  
7月 6日(木) 研究科委員会  
8月 10日(木) 学位論文等中間報告会 (兼 北海道情報大学学術奨学生選考会)  
9月 9日(土) 大学院入学者選抜試験 (1次募集)

11月 27日(月) 研究科委員会  
12月 4日(月)~6日(水) 学位論文等事前審査会  
1月 19日(金) 研究科委員会  
1月 30日(火) 学位論文等公開発表会

## ◇通信教育部◇

6月 30日~7月 2日 前期地方スクーリング (2)  
7月 10日~ 13日 前期IPメディア授業科目試験  
22日~ 23日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験②  
31日~8月 5日 夏期スクーリング (1)  
8月 7日~8月 12日 夏期スクーリング (2)  
28日 平成29年度秋期第1回入学者選考  
29日 新潟教育センター 大学見学  
9月 1日 後期IPメディア授業放映開始  
8日 平成29年度秋期第2回入学者選考  
22日 平成29年度秋期第3回入学者選考  
10月 2日 後期インターネットメディア授業開始  
4日 平成29年度秋期第4回入学者選考  
13日 平成30年度春期第1回入学者選考  
11月 8日 平成29年度秋期第2期入学者選考  
10日 平成30年度春期第2回入学者選考  
18日~19日 後期印刷・インターネットメディア授業科目試験①  
12月 4日~7日 後期IPメディア授業科目試験  
8日 平成30年度春期第3回入学者選考  
8日~10日 後期地方スクーリング (1) (東京、福岡)  
15日~17日 期地方スクーリング (1) (札幌、秋田、新潟、名古屋、大阪、北九州、福岡、鹿児島、沖縄)  
1月 6日~8日 後期地方スクーリング (2) (本学、東京、名古屋)  
12日~14日 後期地方スクーリング (2) (広島、大分)  
17日 平成30年度春期第4回入学者選考  
27日~28日 後期印刷・インターネットメディア授業科目試験②

## ◇法人本部◇

10月12日(木) 理事会・評議員会  
11月29日(水)~12月1日(金) 有限責任監査法人トーマツ「平成29年度期中監査」

## ◆◆ 広報活動 ◆◆

### <進学相談会>

7月：北海道 6会場 (枝幸、苫小牧、斜里、札幌、遠軽、南幌)  
8月：北海道 4会場 (函館、札幌、旭川、帯広)  
9月：北海道 9会場 (美瑛、北見、富良野、小樽、帯広、知内、旭川、札幌、新札幌)  
青森県 2会場 (青森、八戸)  
10月：北海道 12会場 (函館、札幌(2)、帯広、旭川、釧路、中標津、富川、北見、江別、枝幸、新札幌)  
青森県 1会場 (青森)  
11月：北海道 23会場 (紋別、網走、旭川、静内、新札幌(2)、苫小牧、札幌(5)、北見、釧路、帯広、江差、知内、深川、室蘭、函館、八雲、中標津、七飯)  
青森県 1会場 (青森)  
埼玉県 1会場 (さいたま)  
12月：北海道 8会場 (札幌(2)、名寄、士別、伊達、旭川、大樹、上川)  
1月：北海道 2会場 (紋別、中標津)

### <高校内ガイダンス>

7月：北海道 7校 (北照高校、上ノ国高校、帯広北高校、釧路明輝高校、釧路江南高校、羅臼高校、標津高校)  
東京都 1校 (杉並学院高校)  
8月：北海道 4校 (札幌あすかぜ高校、岩見沢西高校、帯広三条高校、本別高校)  
9月：北海道 2校 (千歳北陽高校、ニセコ高校)  
東京都 1校 (関東第一高校)  
10月：北海道 4校 (藤女子高校、札幌大谷高校、函館大妻高校、海星学院高校)

11月：北海道 11校 (北星学園女子高校、北海道文教大学明清高校、滝川高校、旭川藤女子高校、小樽桜陽高校、札幌龍谷学園高校、帯広大谷高校、浦河高校、寿都高校、旭川大学高校、富良野緑峰高校)

千葉県 1校 (千葉黎明高校)

12月：北海道 7校 (札幌北斗高校、遺愛女子高校、札幌第一高校、駒澤大学附属苫小牧高校、札幌創成高校、江別高校、函館西高校)

神奈川県 1校 (横浜創学館高校)

1月：北海道 3校 (札幌静修高校、東川高校、穂別高校)

<高校内進路講演会>

7月：北海道 2校 (札幌英藍高校、標津高校)

8月：北海道 2校 (千歳北陽高校、函館大妻高校)

9月：北海道 2校 (湧別高校、標津高校)

10月：北海道 5校 (音更高校、海星学院高校、鹿追高校、旭川龍谷高校、倶知安高校)

11月：北海道 7校 (芽室高校、旭川龍谷高校、旭川商業高校、札幌東豊高校、清里高校、釧路商業高校、函館商業高校)

12月：北海道 6校 (函館商業高校、別海高校、中標津高校、旭川実業高校、伊達高校、留寿都高校)

1月：北海道 2校 (蘭越高校、札幌英藍高校)

<高校内出張講義>

7月：北海道 6校 (札幌英藍高校、白樺学園高校、釧路明輝高校、斜里高校、遠軽高校、美深高校)

8月：北海道 2校 (厚岸翔洋高校、本別高校)

9月：北海道 3校 (北海学園札幌高校、千歳北陽高校、おといねっふ美術工芸高校)

10月：北海道 3校 (駒澤大学附属苫小牧高校、霧多布高校、白樺学園高校)

11月：北海道 10校 (星槎国際高校、上ノ国高校、利尻高校、雄武高校、札幌山の手高校、江別高校、美瑛高校、札幌啓北商業高校、月形高校、旭川龍谷高校)

12月：北海道 6校 (函館大学付属有斗高校、江陵高校、追分高校、美瑛高校、穂別高校、苫小牧南高校)

1月：北海道 3校 (野幌高校、東藻琴高校、津別高校)

<高校訪問>

7月：北海道 135校、埼玉県 3校、千葉県 2校、東京都 3校、神奈川県 3校

8月：北海道 17校

9月：北海道 210校

10月：北海道 116校

11月：北海道 97校、埼玉県 3校、千葉県 1校、東京都 4校、神奈川県 4校

12月：北海道 199校

1月：北海道 76校、埼玉県 3校、千葉県 3校、東京都 1校、神奈川県 5校

<オープンキャンパス>

7月16日(日) 本学

7月30日(日) 本学

8月11日(日) 本学

8月27日(日) 本学

9月17日(日) 本学

10月8日(日) 本学

11月19日(日) 本学

<キャンパス見学会・大学説明会>

8月5日(土) 北見、釧路、函館

8月6日(日) 旭川、帯広

9月9日(土) 旭川、釧路

9月10日(日) 北見、帯広、函館

10月14日(土) 北見、釧路、函館

10月15日(日) 旭川、帯広

12月3日(日) 本学

12月17日(日) 本学

1月20日(土) 本学

<広報室来学者>

7月12日(水) 札幌市立中の島中学校(大学見学：生徒45名、教員2名)

13日(木) 札幌平岡高校(大学見学：生徒30名、教員2名)

19日(水) 北海道教育大学附属函館中学校(大学見学：生徒6名)

20日(木) 函館大学付属有斗高校(教員1名)

26日(水) 岩見沢緑陵高校(教員2名)

8月25日(金) 北広島市立大曲中学校(大学見学：生徒48名、教員3名)

9月6日(水) 江別高校(大学見学：生徒79名、教員2名)

8日(金) 札幌東豊高校(大学見学：生徒76名、教員4名)

8日(金) 札幌市立北白石中学校(大学見学：生徒29名、教員1名)

15日(金) 札幌厚別高校(大学見学：生徒20名、教員2名)

21日(木) 千歳北陽高校(大学見学：生徒4名)

28日(木) 札幌光星中学校(大学見学：生徒14名、教員1名)

10月12日(木) 奈井江商業高校(大学見学：生徒33名、教員2名)

18日(水) 平取高校(大学見学：生徒2名)

19日(木) 江別市立江別第三中学校(大学見学：生徒7名)

19日(木) 美瑛市立東中学校(大学見学：生徒11名、教員1名)

24日(火) 岩見沢緑陵高校(大学見学：生徒32名、教員2名)

26日(木) 北広島西高校(大学見学：生徒40名)

27日(金) 石狩翔陽高校(大学見学：生徒40名、教員2名)

11月14日(火) 札幌新陽高校(大学見学：生徒88名、教員3名)

15日(水) 旭川明成高校(大学見学：生徒41名、教員2名)

12月18日(月) クラーク記念国際高校・大通(大学見学：生徒39名、教員2名)

19日(火) 旭川福祉専門学校(大学見学：学生100名)

26日(火) 岩見沢農業高校(教員1名)

1月12日(火) 岩見沢農業高校(教員1名)

27日(土) 岩見沢農業高校(大学見学：生徒36名、教員2名)

◇北海道情報大学通信教育部 入学説明会：本学独自◇

7月：6会場(札幌、東京(3)、名古屋、大阪)

8月：1会場(福岡)

9月：6会場(本学(2)、東京(4))

10月：2会場(本学、東京)

12月：5会場(本学、東京(2)、名古屋、大阪)

1月：4会場(東京(2)、広島、福岡)

◇北海道情報大学通信教育部 合同入学説明会：私立大学通信教育協会主催◇

8月：3会場(名古屋、大阪、福岡)

9月：2会場(札幌、東京)

1月：3会場(札幌、東京、福岡)

◆◆ 国際交流関係来学者 ◆◆

9月11日(月)～9月18日(月) タイ国・ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校との共同プロジェクト(学生18名、教員5名)

9月17日(日)～9月19日(火) タイ国・ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校表敬訪問(副学長1名、政府関係者1名)

9月21日(木)～9月23日(土) 中国・南京大学 表敬訪問(学長1名、教員3名)

9月18日(月)～9月23日(土) インドネシア共和国・インドネシア・イスラム大学とタイ国・ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校とマレーシア・UCSI 大学との共同プロジェクト(学生5名、教員1名)

10月3日(火) タイ国・泰日工業大学 表敬訪問(学長1名、コーディネーター1名)

12月22日(金) タイ国・スアンサンタラチャパット大学視察団(教職員41名)

# 北海道情報大学 平成30年度(2018年度)学年暦

前期 前半授業期間
前期 後半授業期間
集中授業期間
他曜日授業
スタートアップ
学生イベント  
後期 前半授業期間
後期 後半授業期間

## 4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5日入学式  
5日～11日 前期 STP  
12日 前期授業開始  
28日 月曜授業日

## 5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

## 6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4日～ 前期前半終了科目成績登録開始～  
9日 前期前半授業終了  
10日 創立記念日  
11日 前期後半 授業開始  
15日～16日 体育祭

## 7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

14日 月曜授業日

## 8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6日 金曜授業日  
7日、8日 合同試験  
9日～夏季休業期間  
16日～25日 夏期集中授業期間

27日～ 追再試験期間

## 9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

～1日 追再試験期間

～19日 夏季休業期間  
20日 後期 STP  
21日 後期 授業開始  
24日 通常授業日

## 10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5日 9/24 振替休日

6日～7日 蒼天祭  
13日 月曜授業日  
20日 保護者と教員の懇談会

## 11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

17日 合同試験日  
17日 後期前半授業終了  
19日 後期後半授業開始  
23日 通常授業日

## 12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

25日～冬季休業期間

## 1月(平成31(2019)年)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

～6日 冬季休業期間  
7日 授業開始

15日 11/23 振替休日

30日、31日 合同試験日

## 2月(平成31(2019)年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

1日～春季休業期間  
2・3日 一般1期入試  
4日～9日 冬期集中授業期間

12日～16日 後期追再試験期間

## 3月(平成31(2019)年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

14日 学位記授与式

保護者の皆さまから、学生さんのスケジュールや、大学の行事などの日程がわからないとのご意見が多く寄せられてい

ましたので、毎回本学の学年暦を掲載することにいたしました。保護者の皆さまと学生さんのスケジュール調整、コミュ

ニケーションにお役立てください。ご意見もお待ちしております。

## 情報大の女子学生出演！

### 「たびろくムービーズ」新テンプレート配信中！

#### はじめに

私たちシステム情報学科の長尾ゼミと情報メディア学科の齋藤ゼミでは、平成28年の夏から、外部の企業と「たびろくムービーズ」の新テンプレート制作プロジェクトを行っています。その新テンプレートについて、皆さんに紹介したいと思います！

#### たびろくムービーズとは

「たびろくムービーズ」とは、株式会社日立ソリューションズ東日本が配信している、旅行者向けのフォトムービー作成アプリです。旅先で撮影した写真を、テンプレートと呼ばれる背景動画と組み合わせると、旅の思い出としてフォトムービーが出来上がるというもので、現在配布

されているテンプレートの数は私たちが作ったテンプレートを含め、12個になります。



#### 「札幌乙女の厳選スポットガイド」

このプロジェクトは、学生の自由な考え方やデザイン力を活かし、学生目線で地域の魅力発信を行い、貢献するというコンセプトのもと活動しています。その上で、私たちはまず、「たびろくムービーズ」のテンプレートに求められているものは何か、学生や外国人の方にアンケートを取り、それらを踏まえて新しいテンプレートを考えました。そして、外国人の方の意見や、学生にしかできないという部分を取り入れ、出来上がったのが新テンプレート「札幌乙女の厳選スポットガイド」です！このテンプレートは、札幌市内10カ所の有名な観光地を、情報大の

女子学生が映像とナレーションで紹介をしていくというものです。映像の右上には観光地の名前が書かれたロゴを表示して、流れている映像がどこの観光地かわかるようにし、一部の観光地ではその観光地付近で有名な料理の映像も流すことで、その観光地に興味を持たせるようにしています。さらに、「たびろくムービーズ」は英語版と中国語版がリリースされていますが、それぞれの言語に対応した「札幌乙女の厳選スポットガイド」も配信されています。観光地については、札幌駅・羊ヶ丘展望台・時計台・藻岩山・テレビ塔・札幌ドーム・北海道神宮・

白い恋人パーク・すすきの・赤れんが庁舎の計10カ所になっています。しかし、一度に10カ所全ての映像を見られるわけではなく、1つのフォトムービーにつき、計4カ所の観光地の映像が流れます。1番目に流れる観光地が札幌駅、4番目に流れる観光地が羊ヶ丘展望台と固定になっており、その間の2カ所の観光地がランダムになっているので、どの観光地が出てくるのか分からないドキドキ感が楽しめます！



プロジェクトの第1弾であるテンプレートがリリースされた今、私たちは「たびろくムービーズ」と「札幌乙女の厳選スポットガイド」のプロモーション活動を行っています。学内や駅にてポスターの掲示、撮影させていただいた観光地にてチラシの配布、そして平成30年1月31日には地下歩行空間にてイベントを行うなど、宣伝に力を注いでいます。

また、「札幌乙女の厳選スポットガイド」は、「たびろくムービーズ」内にて配信中です。「たびろくムービーズ」はAppStore、GooglePlayにて好評配信中ですので、QRコードを読み取って、是非ダウンロードしてみてください！また、使い方が分からない方は、Facebookページにて使い方が書かれているので、是非アクセスしてみてくださいね。

<https://www.facebook.com/HIUsapporoGirlsTrip/>

それではみなさん、今後ともこのプロジェクトの応援をよろしくお願い致します！

